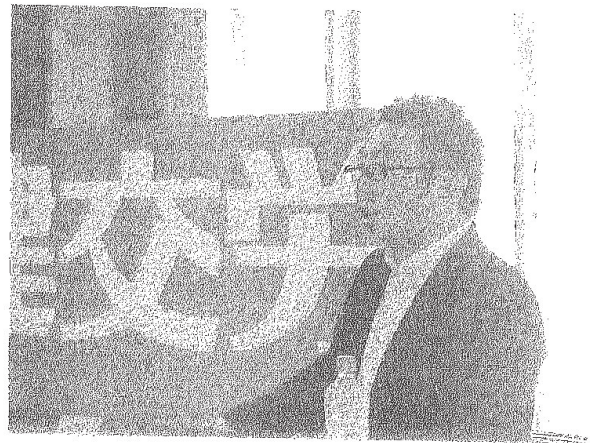


労・建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

建交労神奈川県本部 第20回定期大会開催



2018年度運動方針を提起する
県本部高橋書記長

県本部20回定期大会は10月28日川崎教育文化会館で開催されました。
開会挨拶に立った齋藤書記次長は、安倍政権による弱者犠牲の悪政を厳しく批判すると同時に玉城デニー氏が勝利した沖縄県知事選挙のように闘おうと呼びかけました。
大会議長には齋藤書記次長の提案で県南支部の佐藤委員長と鉄道神奈川県地方本部の原田氏が選出されて議事を進行しました。

安倍政権退陣に向けた
たたかいと
要求闘争の強化
で強大な組織建設を!

伊藤東一県本部委員長は主催者挨拶で、安倍政権の「競争する国」づくりと経済政策アベノミクスが行き詰まり危機的状況に追い込まれている実態を告発し、憲法9条改憲N

〇!安倍政権退陣に向けたたたかいと一体で強大な組織建設と要求闘争の強化を呼びかけました。

つづいて激励に駆けつけていただいた6名の来賓の方々からのあいさつでは、安倍自公政権による、沖縄辺野古新基地建設や9条改憲に固執する姿勢をはじめ「働き方改革」法案、来年10月からの消費税10%への増税など、安倍政権による悪政が国民の安全と生活を破壊している実態が告発され、来年の統一地方選挙と参議院選挙で市民と野党共闘を抜本的に強化して安倍政権の与党に痛打をあげ、安倍政権を退陣に追い込むたたかいの重要性が共通して語られました。
大会はその後、高橋書記長が議案の全般を提案して昼食休憩に入り午後から討論に移りました。

激励に駆けつけて

いただいた皆様

建交労中央本部

福富書記次長

神奈川県労連

住谷議長

神奈川県土建

仙田書記長

川崎

合同法律事務所

三島弁護士

日本共産党

君嶋神奈川県

県議会議員

横浜合同法律事務所

杉本弁護士



議長団の佐藤・原田両氏

安倍9条改憲を阻止し 戦争のない平和社会を守ろう

すべての要求闘争の前進と

強大な建交労神奈川県本部をめざそう

仕事が増え
組合員も増える
ローテーション

討論では、ダンブ支部から、東京オリビックを控えて仕事が忙しくなってきたという現状と、就労単価48,000円を掲げて、就労促進と組織拡大のたかひを結合した運動を進めていくことで、仕事が増え組合員が増えるローテーションを確立していきたいと決意が報告されました。同時に組織拡大については種をまき続ける地道な運動の継続が重要ではないかと提起がありました。

核兵器廃絶へ
向けた決意が

清野執行委員からは、県本部を代表して参加した平成最後の原水爆禁止世界大会in広島での感想について、ヒロシマ・ナガサキの被爆の実態については幼いころに、はだしのゲンの漫画を見た記憶があるくらいだったが、実際に大会に参加して被爆者の声が耳に入ってきたときには眼がウルウルとしてくるのを止められなかったと、感動の報告と核兵器廃絶への決意が述べられました。

続いて12月11日、労働プラザにおいて開かれる三昭運輸の労働委員会への参加の訴えがありました。

その後、各支部からの発言を受けた高橋書記長のまとめを含めて全議案が全会一致で採択され、新執行部体制を確立し、大島副委員長、清野執行委員の団結ガンパロウで成功裏に閉会しました。

新執行部紹介

委員長	伊藤 一雄
副委員長	大島 信英
書記長	高橋 健人
書記次長	斎藤 年平
執行委員長	小野 純儀
執行員	清野 秀和
執行員	清関 利雄
執行員	林 三浦
執行員	三小 沢
執行員	小原 志美
監査	田原 勝美
会計	

団結ガンパローを唱和する大会参加者



200名の
神奈川ダンブをめざし、楽しく交流、

意図統一!

気温30度前後の10月とは思えない陽気の中、大和市泉の森に組合員、家族、友人約30名が参加して交流バーベキューで楽しみました。

焼肉ステーキがどんどん焼かれた後、パエリアに挑戦。

組合員からは「たぶん失敗するね」といわれながらも、できてみると「うまい!」「パエリア簡単!」と賞賛の声が。

お次は焼きそばと焼きマッシュマロで子供たちのお腹はいっぱい。

食べ物でおなかを満たした後は、ほろ酔いの中で、仕事の話や組合の話などで大いに盛り上がり、「来年も元気でできるの良いね!今年度は泊り込みでしたい!」など、来年も笑顔で参加できるようにみんなで確認しました。